

Ⅲ 令和3年度の評価の概要

1 田上っ子に身に付けさせる「5つの能力」

「志をもって意欲的に学び、自律と思いやりの心をもつたくましい子ども」を育むために、田上っ子に身に付けさせる「5つの能力（左下）」を設定しました。定着状況を年長組から「4つの行動（右下）」の経年変化で評価し、指導に活用してきました。



田上の子どもに身に付けさせる「5つの能力」

- 人の話をしっかりと聞くことができる。
- 自分の考えをもち、伝えることができる。
- 自分の役割を果たすことができる。
- 明るいあいさつができる。

「5つの能力」を評価する観点「4つの行動」

2 田上っ子の具体像…「田上っ子宣言」

平成 31 年度から、田上町の児童と生徒が、「どんな田上っ子になりたいか」について議論を重ねました。そして、5つの「なりたい自分」にまとめ、田上の皆さんに宣言することにしました。これが「田上っ子宣言」です。

全園校に、クリアファイル、大型の上り旗、大型の横断幕を配付して日常的に目にできるようにしたり、行事の際に全員で唱和したりして、意識化を図っています。

3 学習指導要領との円滑な接続

(1) 幼稚園と小学校の接続で「小1プロブレム」を防ぐ

月日	曜日	6日(月)	7日(火)	8日(水)	9日(木)	10日(金)
よてい		入学式準備	入学式	水(すい)	木(もく)	金(きん)
あさかつどう		8:15～8:30				
あさのかけ		8:30～8:40				
1		8:40～9:25				
2		9:30～10:15				
3		10:35～11:20				
4		11:25～12:10				
5		12:10～12:55				
お休み		12:55～1:40				
そらじ		1:40～1:55				
お休み		2:00～2:45				
時数						

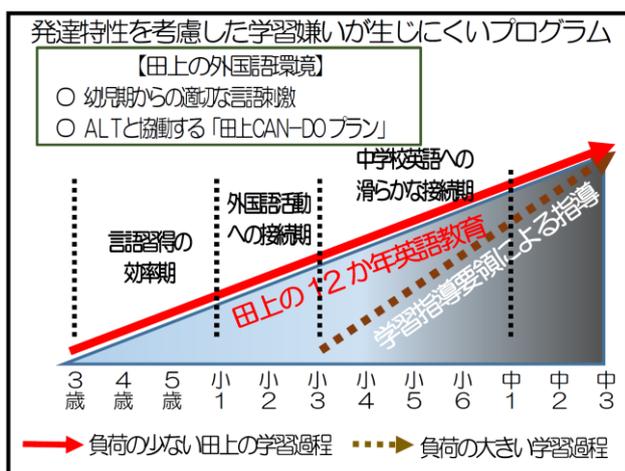
小学校入学後に、学校の先生の話の聞くことができない、授業中に勝手に立ち歩いてしまうなどの問題行動が顕在化する小1プロブレムは、小学1年生だけではなく、その後の子どもの成長や人格形成にも大きな影響を及ぼす可能性があります。

田上町では、幼稚園の「アプローチカリキュラム」と小学校の「スタートカリキュラム」

を作成して、子どもが学校生活に慣れ親しむことを支援するだけでなく、保護者が安心して子どもの学校生活を見守ることができるようにしています。

(2) 幼稚園と小学校の連携による学習指導要領との接続

ア 3歳児から始める英語教育



新学習指導要領の中学校の英語は、語彙数が現行の 1200 語から 1600～1800 語程度に増え、現行では高校で学習している仮定法や現在完了進行形、感嘆文が下りてくるなど、学習内容が増えます。小学校では、3年生から外国語学習が始まり、それに伴って児童生徒の学習に対する負担が増加することが懸念されます。

田上町では、田上版 CAN-DO リストを作成し、「英語嫌いをつくりたくない」「自分の英語が伝わった」といった成功体験を大切にすると3歳児から英語に親しむ環境づくりに努めています。

イ 小中学校で学ぶプログラム「Scratch」と教材「m-bot」を共有

新学習指導要領に「プログラミング学習」が位置付けられました。子どもが小学校での学びを中学校で充実・発展できるようにするために、田上町の小中学校では、同一プログラムと教材を使って児童生徒が学ぶようにしました。

田上の小中学校は、次のことに連携して取り組みます。

幼・小学校

- 「Scratch」に親しむ
- トライ&エラーの積み重ね
- コンピュータに意図した処理を指示できるなどの成功体験

中学校

- 学習での有用性が広がる
- 各教科等においてコンピュータを適切に活用する学習活動の充実が容易になる

- ① トライ&エラーを大切に、問題解決学習と成功体験を味わわせる。
- ② プログラミング学習を自校の年間指導計画に盛り込み、全職員が取組をと

おして感じた手応えや次年度に向けた改善を追記します。そして、それを検討し合って、次年度の指導計画に反映させます。

ウ 小中連携で規則的な生活習慣の育成

たけのこカード

年 組 番 氏 名

たけのこ週間 ～アウトメディアで睡眠の規則正しい習慣を身に付けよう～

1学期：7月5日(火)～7月9日(土)
2学期：11月8日(火)～11月12日(土)
3学期：1月17日(火)～1月21日(土)

取組方法

- ① 「寝る時刻」、「メディアの時間」について、たけのこ週間中の家族のルールを曜日ごとに決めてたけのこカードに記入します。決めるときは、保護者の方とよく相談しましょう。お家で決めたルールを工夫して、家族のルールを守るために、下校から寝るまでのスケジュールを立てましょう。
- ② たけのこ週間中の「実際に寝た時刻」「実際のメディアの時間」を記入しましょう。
- ③ 評価のときに、評価方法に合わせて○か×を記入しましょう。
- ④ 最終日に、「結果」のところにおの合計の数を記入しましょう。保護者の方と話し合っ評価を書き、保護者の方からメッセージを記入してもらって、月曜日に学校に提出しましょう。

下校から寝るまでのスケジュールを記入しましょう。		4時	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時
午後4時	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時
②									
日	寝る時刻 (家族のルール)	実際に寝た時刻	評価	メディアの時間 (家族のルール)	実際にメディアの時間	評価	メディアの時間 (家族のルール)	実際にメディアの時間	評価
7/5(火)	時 分	時 分	③	時 分	時 分	④	時 分	時 分	④
7/6(水)	時 分	時 分	③	時 分	時 分	④	時 分	時 分	④
7/7(木)	時 分	時 分	③	時 分	時 分	④	時 分	時 分	④
7/8(金)	時 分	時 分	③	時 分	時 分	④	時 分	時 分	④
7/9(土)	時 分	時 分	③	時 分	時 分	④	時 分	時 分	④

メディアの時間とは…
テレビやゲームのほか、動画を見たり、SNSなどのインターネットの閲覧のことです。

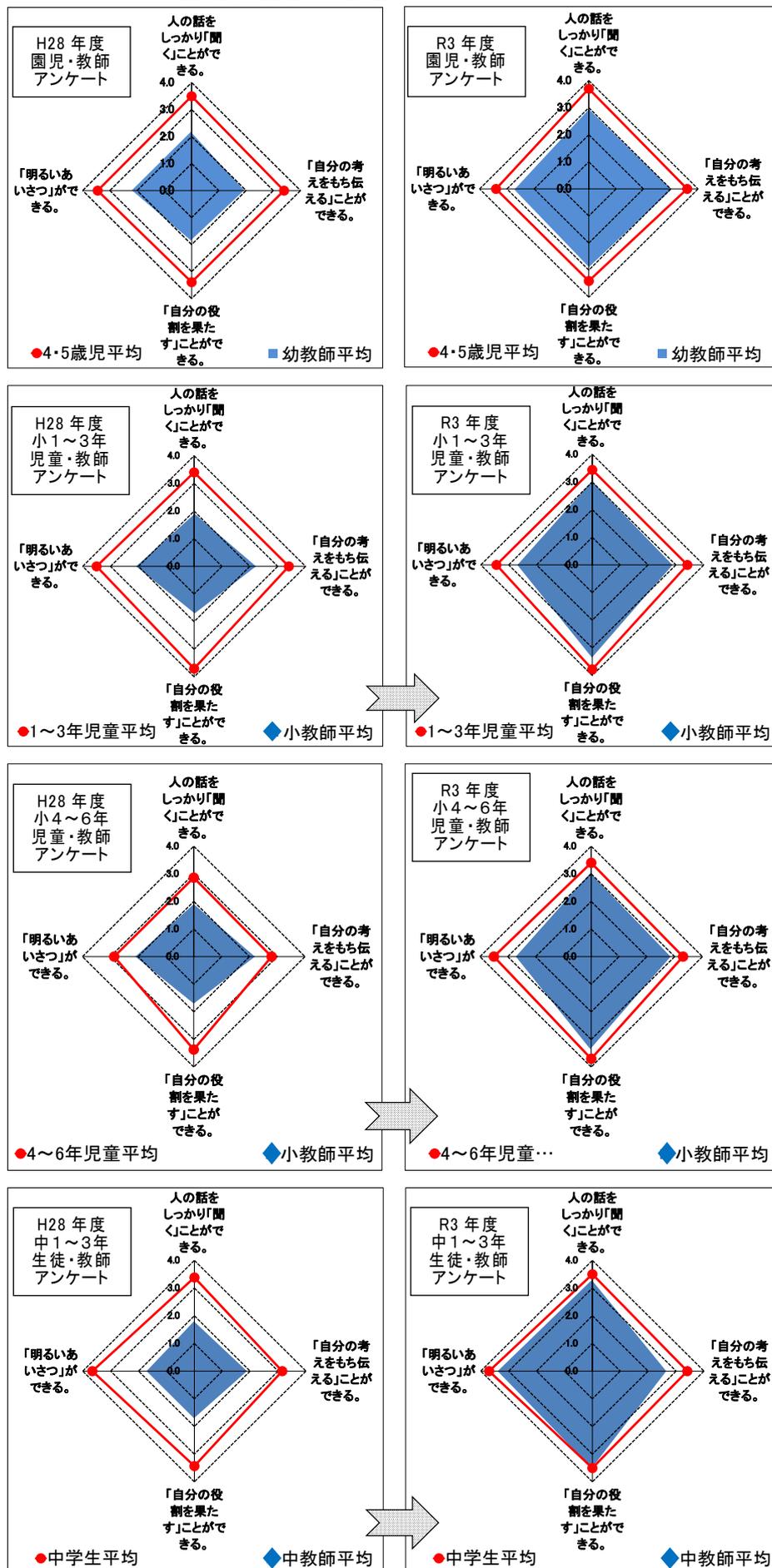
「アウトメディア」
電子メディアに接触する時間を減らすことが目的です。電子メディアを接触するものではありません。電子メディアに上手に触れることで過度の接触を減らして、自分自身の時間・家族の団らん・人とのつながりの時間を大切にしようというものです。

文部科学省は、「早寝」「早起き」「朝ごはん」を推奨しています。毎日朝食を摂る子どもほど学力調査の得点が高い傾向にあり、毎日同時刻に起床すると、活発な「身体」「頭」「心」の動きが促されるそうです。

田上町の小中学校は、全児童生徒を対象に「就寝時刻」「メディア接触時間」の目標を設定してその遵守に1週間取り組み、振り返るというサイクルを大切に「たけの子カード」に、一斉に年3回取り組んでいます。

取組の結果を共有して指導に活かせるように「児童生徒一人一人の結果」「各校の結果」「3年間の変容」等をデータ化して、各校で具体的な指導にあたっています。

4 「4つの行動」評価の推移



左のグラフは「4つの行動」に係る園児児童生徒の自己評価と教員評価の結果（左：平成28年度、右：令和3年度）です。

平成28年度と令和3年度の結果を比較すると、園児児童生徒の自己評価に顕著な変容を確認することはできませんが、幼小中の教員評価は、校種に関係なく肯定的な評価へと大きく変容しました。

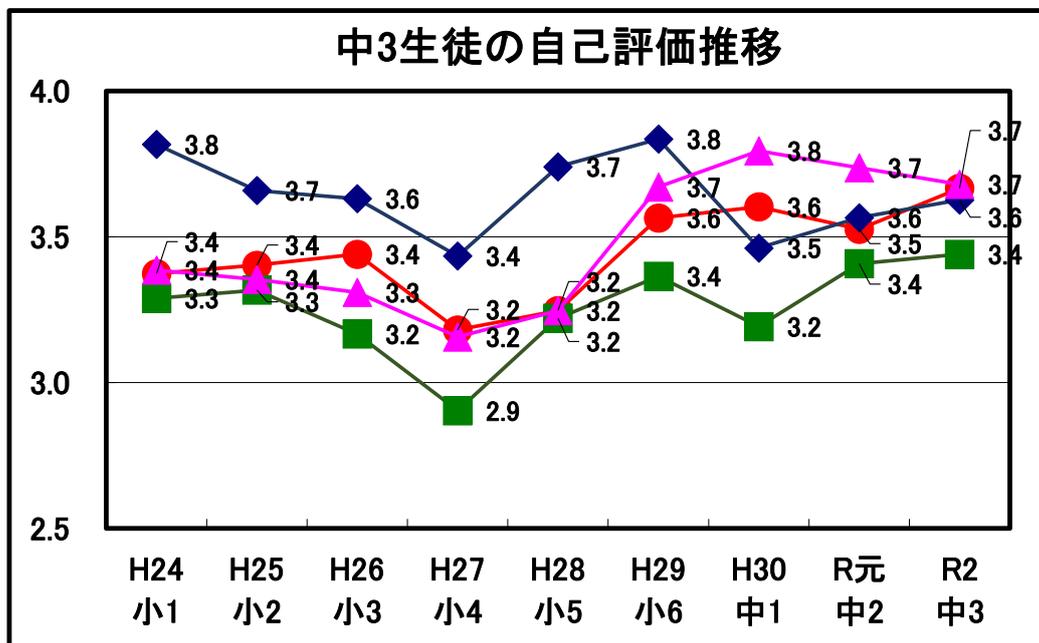
「4つの行動」に目を向けて子どもの成長を具体的にすること、園校が一体感を伴う協働的な指導を推し進めること等の連携の成果です。

幼稚園では、「考えをもち伝える」「明るい挨拶」への自己評価が他項目と比較してやや低い状況であり、今後の課題です。

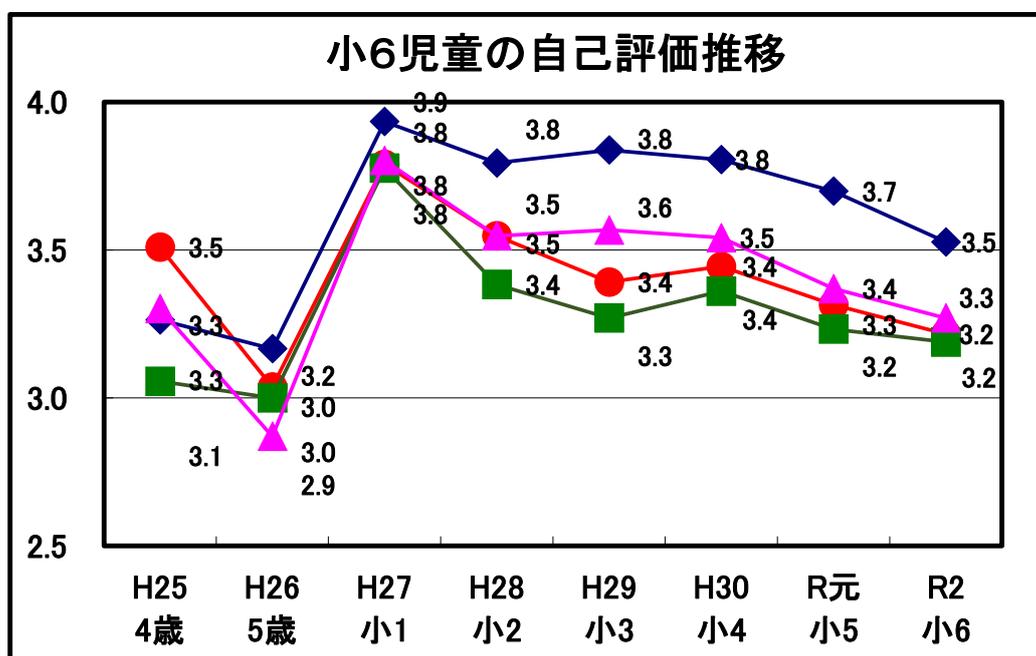
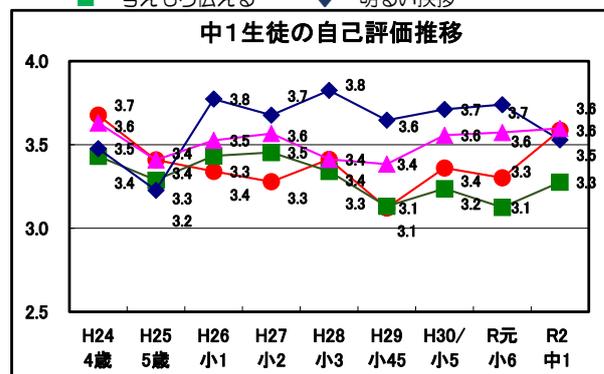
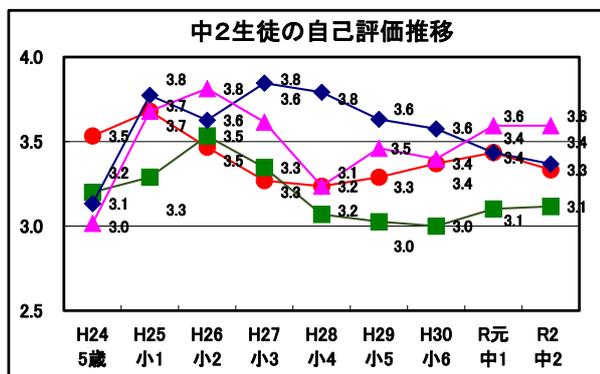
小学校では、下学年も上学年も、教師と児童共に「自分の役割を果たす」の自己評価は高い状況です。教師は「考えをもち伝える」を課題にしています。

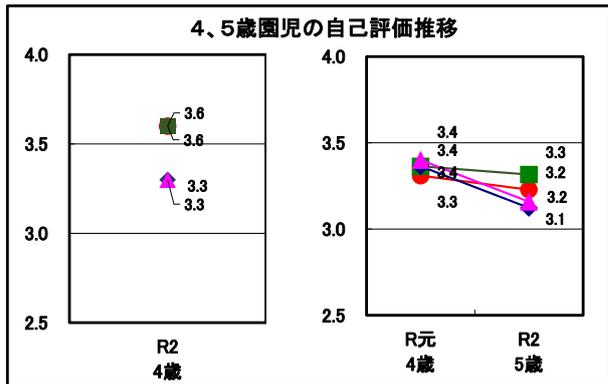
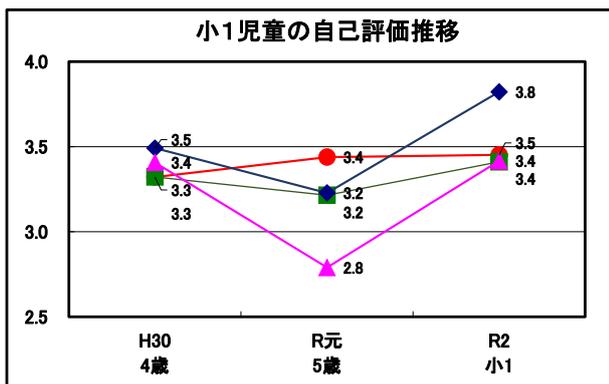
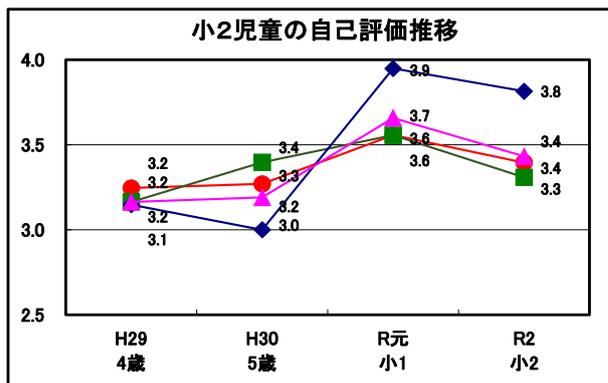
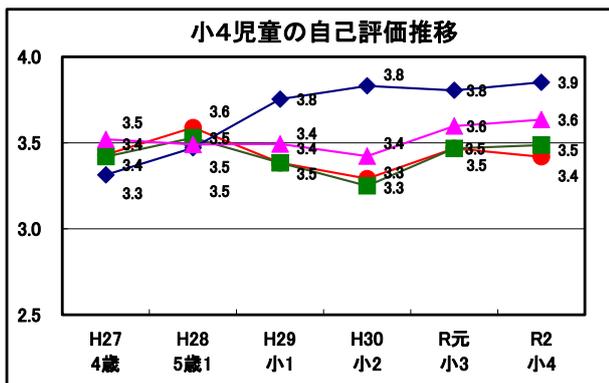
中学校では、教師と生徒共に「明るい挨拶」と「自分の役割を果たす」の評価が向上しました。教師は、「話を聞く」「考えをもち伝える」に弱さを感じています。

下グラフは、令和3年度田上の12か年教育アンケート「4つの行動」の同一集団における自己評価の経年推移です。小学校中学年から、「自分の考えをもち伝える」ことへの自己評価が低くなっています。今後は、「自分の考えをもち伝える」能力と態度の育成を課題の一つに位置付けて、連携して改善に向かわなければなりません。



● 話を聞く ▲ 役割を果たす
■ 考えもち伝える ◆ 明るい挨拶





- 話を聞く
- 考えもち伝える
- ▲ 役割を果たす
- ◆ 明るい挨拶